

OUTLINE

創業 1917年(大正6年)
設立 1956年(昭和31年)
業務内容 ガラス容器、プラスチック容器及び関連付属品製造・企画・販売
販売先 医薬品・化粧品・食品・その他関連産業
本社 〒536-0014 大阪市城東区鶴野西2丁目6番5号
大阪工場 TEL:06-6961-4855 FAX:06-6968-5881
東京支店 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-9 コンフォール安田ビル1F
TEL:03-3296-0231 FAX:03-3296-0234
釧路営業所 〒088-0114 北海道釧路市音別町海光1-27
TEL:01547-6-2798 FAX:01547-6-2183
鳴門営業所 〒772-0003 徳島県鳴門市撫養町南浜字大工野21-1
TEL:088-685-8588 FAX:088-685-8566
鳴門工場 〒772-0003 徳島県鳴門市撫養町南浜字大工野21-1
TEL:088-685-8017 FAX:088-685-8515
九州出張所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-23-12 博多光和ビル3F
TEL:090-8191-5382 FAX:06-6968-5881(大阪本社)

グループ会社
大商化工株式会社
本社 〒536-0014 大阪市城東区鶴野西2丁目6番5号
TEL:06-6967-6851 FAX:06-6968-5881
釧路工場 〒088-0114 北海道釧路市音別町海光1-27
TEL:01547-6-2798 FAX:01547-6-2183
大商株式会社
本社 〒536-0014 大阪市城東区鶴野西2丁目6番5号
TEL:06-6967-5201 FAX:06-6968-5881

HISTORY

1917年(大正06年) 硝子瓶の内地販売及び間接輸出販売を目的として、
土出英吉商店を大阪市北区下福島3丁目に創業する。
1926年(大正15年) 大阪市旭区鶴野町546番地に新築移転する。
1933年(昭和08年) 組織を法人に改組し、合資会社土出英吉商店とする。
1949年(昭和24年) 同社を大商株式会社に改組する。
1956年(昭和31年) 同社内地部門を分離し、大商硝子株式会社を設立する。
1975年(昭和50年) 電気炉2基を導入、無公害工場とする。
1986年(昭和61年) 徳島県鳴門市に硝子工場を新設。稼働する。
1991年(平成03年) 東京支店を開設する。
1992年(平成04年) 大阪本社新社屋完成。
1996年(平成08年) 鳴門工場内に樹脂工場を新設。稼働する。
1999年(平成11年) 大阪本社内にクリーンルームを新設。稼働する。
2000年(平成12年) 新コーポレートマークを導入。21世紀への新たな事業展開を目指す。
2004年(平成16年) 大阪本社にコミュニケーションスペースを新設。
2006年(平成18年) 大阪本社に製品検査室を新設。東京支店を神田錦町に移転。
コミュニケーションスペースを開設。
2012年(平成24年) 九州出張所を開設する。

www.daisho-g.co.jp

M O V I N G



期待を満足に、そして感動を。

お客さまの期待に応えるだけでなく、期待以上の満足をお届けすること。

私たちは、創業から一世紀もの長きにわたって、

技術の研鑽と進化を重ね、ゆたかな知見とノウハウを培ってきました。

「品質」と「デザイン」を高い次元で融合させたもののづくりで、

お客さまに、心から満足いただける商品とサービスを追求してきました。

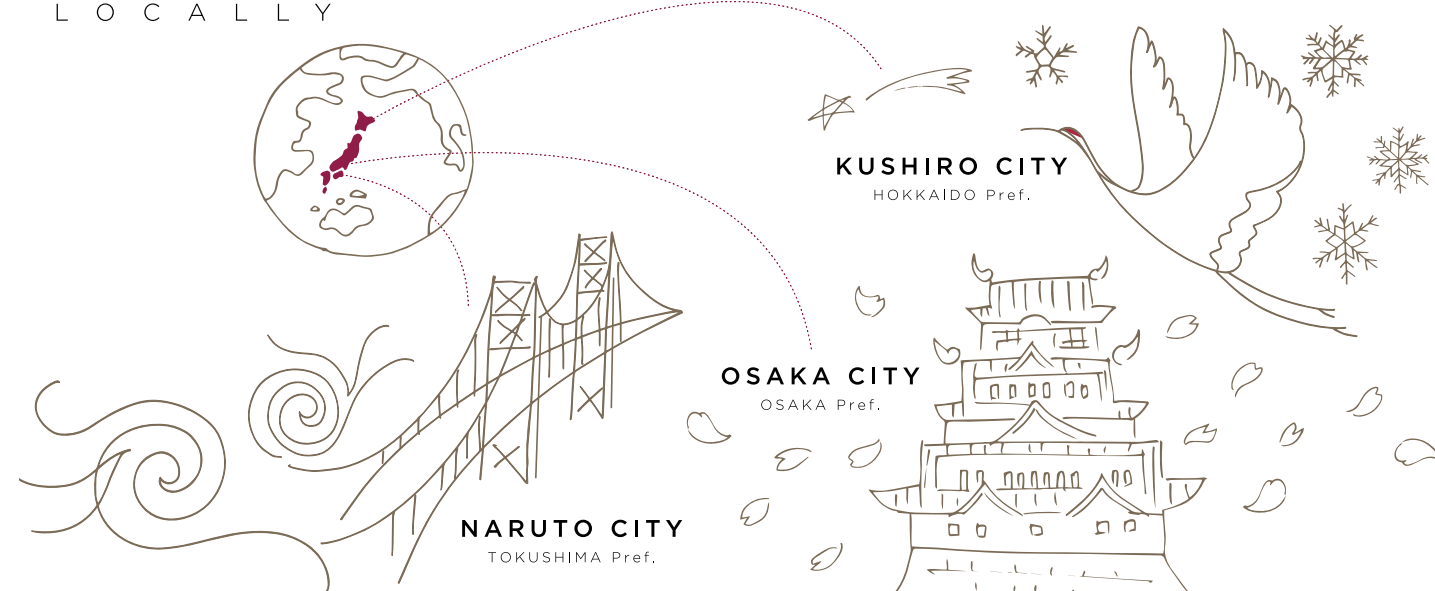
そして今、その先にある「感動」という価値さえもお届けできる

ブランドをめざして、新たな一歩を踏み出しています。

期待を満足に変え、感動を世界へ広げていくために。

私たちはこれからも、飽くなきチャレンジを続けてまいります。

THINK
GLOBALLY
A C T
LOCALLY



大商硝子株式会社 DAISHO GLASS Co.,Ltd.
〒536-0014 大阪市城東区鶴野西2丁目6番5号
Phone.06-6961-4855 Fax.06-6968-5881





唯一の価値を生み出す、きめ細やかな成型。

NARUTO FACTORY

これまでにない形や大きさ、小ロット品への対応。鳴門工場は、多様化するニーズに柔軟に応え、お客さまの求める品質や付加価値を持った商品を実現しています。珪硝子の製造を可能にする技術力を活かし、ものづくりの幅を日々広げ続けています。



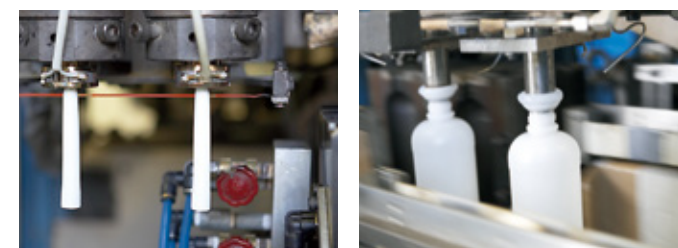
GYOKU

光の反射によって生み出される透明感のある白。鳴門工場は「珪硝子」を生産する日本唯一の工場。デザイン・加飾がよく映える光沢のある白地は、製造工程を丁寧に進めることで実現します。美しい白を守るため、離型剤を使わないなど独自のノウハウが、ここにしかない価値をさらに磨きあげています。



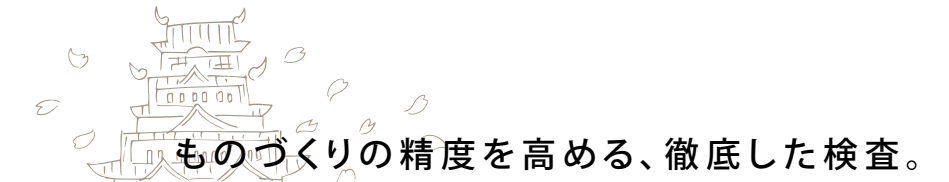
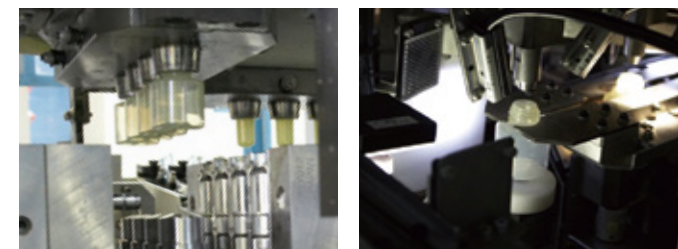
DIRECT BLOW

大商硝子では、低コストで小ロット多品種の生産に対応。ガラスを思わせる高級感を持ったPETボトルは、準クリーンルーム仕様の成型室の中で製造されます。医薬品容器にも対応できる安全性を持った商品をつくりあげています。



STRETCH BLOW

大量生産にも対応しており、医薬品、化粧品など幅広い容器の成型に採用されています。商品重量や寸法安定性から、厳しい品質基準が求められる、高精度な商品を安定して製造することができます。



ものづくりの精度を高める、徹底した検査。

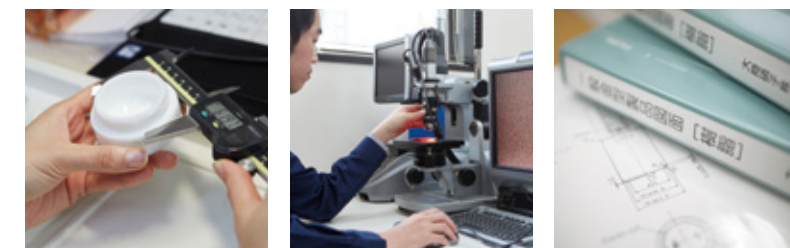
OSAKA FACTORY

本社工場では、検査や組み立てを通して、ものづくりの一端を担っています。年々強まる安心・安全のニーズに応えるために、長年取り組んでいる全数検査を強化。検査員に対する適性試験や、高度な検査機器の導入など、人の感性と機械を合わせた精度の高い検査が、お客さまの安心と信頼につながると信じています。



QUALITY CONTROL

品質管理室では、商品の外観検査だけでなく、落下試験や気密試験などの機能検査や寸法検査を実施。メーカーとしての視点を活かした品質の確認や問題解決への対応を行っています。空調の整備等による環境管理の充実。変わらない品質を提供し続けるために、私たちは日々変わり続けています。



CLEAN ROOM

ハイレベルな衛生管理が求められる医薬品容器。本社工場では清浄度ISOクラス8レベル(Class 100,000)のクリーンルームを設置。作業工程の管理や入室管理、教育訓練も徹底し、専門スタッフの研ぎ澄まされた眼による検査と確かな組立作業で、お客さまの製品により一層の信頼を加えています。



安心・安全を届ける、高次元の衛生管理。

KUSHIRO FACTORY

医薬品容器の部品を扱う鋳路工場では、クリーンウェアの着用やエアシャワー、緩衝室の設置などにより防塵・防虫を徹底。安心をお届けするために、衛生面への細やかな配慮を欠かしません。



美しさと機能が、ハイレベルで融合する。

DESIGN

鏡面を思わせるフラットな平面。存在感が際立つシャープなエッジ。大商硝子のデザインは、商品の個性を引き出し、そこに内包された世界観を表現します。外観だけではなく、機能性や生産性までも高次元で融合されたデザインが、商品の価値を最大限に高めます。



期待を集める、ブランドマネジメント。

BRANDING

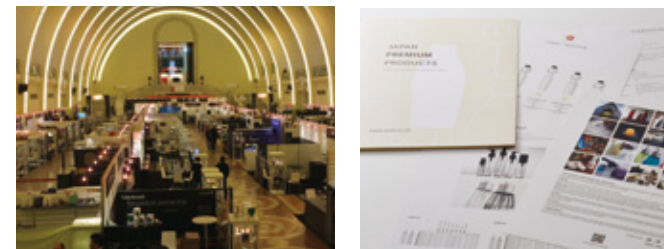
私たちは、手がける一つひとつの商品はもちろん、WEBや展示会、パンフレットなどによるコミュニケーションを通して、ブランドとしてのメッセージを発信し続けています。お客さまの創造性を刺激し、ともに良いものづくりに取り組み、その期待をさらに超える成果をめざしています。



生み出す価値は、海を越えて。

GLOBAL

大商ブランドは今、世界へ広がりを見せています。珪硝子やインナーレリーフボトルなど、独自の技術によって育んできた商品を、アジアやヨーロッパを中心に数多くの展示会に出展。私たちだけが生み出せる価値を武器に、グローバル市場に挑んでいきます。



COMMUNICATION SPACE

We can communicate by creation.

想いを、かたちに変える場所。

お客さまとコミュニケーションを重ね、同じ目標を見据えてアイデアに磨きをかける場。それが東西4拠点に展開するコミュニケーション・スペースです。お客さまの想いと大商硝子の独創性が出会い、自由な発想が広がっています。



SPECIALIST

各分野のスペシャリストとコミュニケーションをとりながら検討できます。営業はもとより、デザインや設計、製造の専門家ともコミュニケーションがとれます。最新のTV会議を利用することで、遠隔でも密なやり取りが可能です。

MATERIAL

ガラス、樹脂などの素材から多彩な加工サンプルを取り揃えています。一般成型はもちろん、ものづくりの感性を刺激する大商硝子オリジナル型まで、最新のデザインサンプルと数多くの現物を取り揃えています。

REALITY

企画に関わるあらゆる疑問にお答えできるデータベースを整えています。過去の事例から、製造ノウハウをデータベース化し、素早い検証を可能にしています。最新の技術情報もリアルタイムに取り込み、新たな製造の可能性の探求も忘れません。



OSAKA

TOKYO



NARUTO

FUKUOKA